



「純美」

学校教育目標

「純美にしてファイトに富む学校」

生徒が安心して学び、教職員が誇りをもって働ける学校

安心・挑戦・協働・誇り

9月号 令和8年9月15日 文責 校長

◆2学期がスタートしました。夏休みを終え、生徒たちの元気な姿とともに始業式を迎えることができました。

2学期は、体育大会や文化発表会など、多くの行事が予定されています。一人一人が力を発揮するとともに、学級や学年の仲間と協力しながら、よりよい集団づくりに取り組んでほしいと思います。行事を通して「みんなで力を合わせ、一人ではできない感動や達成感を味わえる2学期にしていきたいと思います。」

～2学期始業式より～

◆行事の本当の価値は、「成功すること」や「勝つこと」だけではない。

◎仲間とアイデアを出し合い、お互いの違いを認めながら進むこと。「**協働**」。

◎自分の役割を最後まで果たそうと努力し、失敗を恐れずに挑むこと「**挑戦**」。

◎結果だけでなく、それらの過程で仲間と共に悩み、努力を積み重ねること。

そのプロセスこそが、皆さんを大きく成長させる。

何かに臨むとき、「失敗したらどうしよう」、「うまくできなかったら恥ずかしい」と不安になるのは当然。自信があるから挑戦するのではない。挑戦するからこそ、自信が生まれる。

合言葉・・・「**まず、やってみよう。**」たとえうまくいなくても、それは挑戦した証「**やらなかった後悔**」より、「**やってみた経験**」を2学期の終わりに、「完璧ではなかったけれど、よく頑張った」、「少し成長できた」と、自分で自分を認め、胸を張って言えるよう。

先生たちも皆さんを全力で応援します。一緒に素晴らしい2学期をつくっていきましょう。

◆先日開催されました養護教諭・保健主事の合同研修会で、佐賀県産業医学協会の後藤英之先生をお招きし、「こどもたちをゲーム・スマホ・SNS 依存から守る～デジタル機器と健康的な付き合い方を考える～」と題目でご講演をいただきました。本校でも生徒のスマートフォンやゲームの利用やトラブルについてご相談を受ける機会が増えております。ご家庭でのお声かけやルールづくりの参考に、講演の要点を抜粋してお伝えいたします。

◆「スマホ・ゲームが脳と心身に与える影響」脳(前頭前野)の働き低下、長時間画面を見続けたり過度な刺激を受け続けると、感情のコントロールや集中力をつかさどる「前頭前野」の働きが低下し、イライラしやすくなったり学習に集中できなくなったりします。睡眠障害と生活リズムの乱れ、夜間のブルーライトや脳の興奮状態は睡眠を妨げ、昼夜逆転や体調不良(朝起きられない等)の要因となります。

◆「なぜ意志の力だけでやめられないのか？」ゲームの達成感や SNS の反応を得ると、脳内で快楽を感じる物質(ドーパミン)が分泌されます。繰り返すうちに強い刺激を求めるようになり、子供自身の意志だけではコントロールが難しい「**依存状態**」に陥ってしまいます。

◆ご家庭で取り組んでいただきたい3つのポイント一方向的ではない「**親子でのルールづくり**」保護者が決めつけるのではなく、「利用時間」や「寝室には持ち込まない」といった約束を、お子様と一緒に話し合って作成することが大切です。環境による制限(ペアレンタルコントロールの活用)、端末の利用時間制限機能やフィルタリングを設定し、物理的に使いすぎを防ぐ仕組みを整えましょう。

◆「画面の外での**リアルな体験**を増やす」スポーツや読書、家族での会話など、日常の中で達成感や安心感を得られる時間を意識的に作ることが効果的です。デジタル機器を遮断するのではなく、健康的な付き合い方を身につけるためには、ご家庭での「**環境づくり**」と「**適切なサポート**」が不可欠です。ぜひこの機会にご家庭でのルールや使い方について話し合ってみてください。

九州・全国総体・各種大会・コンクール等結果

県中体連ソフトボール競技	3位
県中体連軟式野球競技	2位
県中体連剣道競技 女子団体	1位
県中体連剣道競技 女子個人	1位
県中体連剣道競技 女子個人	2位
県中体連剣道競技 男子団体	2位
県中体連バレーボール競技 男子	3位
県中体連バレーボール競技 女子	3位
第67回佐賀県吹奏楽大会 Bパート	金賞
第56回九州中学校剣道競技 女子団体	3位
第56回九州中学校剣道競技 女子個人	1位
第56回全国中学校剣道競技 女子団体	ベスト8
第56回全国中学校剣道競技 女子個人	ベスト16
三養基神埼地区中学生 学年別ソフトテニス選手権大会 女子個人	1位
三養基神埼地区中学生 学年別ソフトテニス選手権大会 女子個人	2位
九州中学校新体操競技 男子団体	1位
第25回全国女子中学生ウエイトリフティング選手権大会 53kg級	2位
全国地域安全運動「防犯ボランティア活動」ポスター	優秀賞

中学生サミット◆8月20日(木)に、神崎市役所で今生徒会、最後の中学生サミットが行われました。實松神崎市長をはじめ、多くの来賓の方の前で神埼中としての発表を堂々で行いました。





「純美」

第 69 回
神崎市立神崎中学校体育大会
令和 8 年 9 月 12 日 (土)



◆今回緑団の団長をしてみてみんなをまとめることの大変さを知りました。でもしっかり話を聞いてくれてとても楽しかったです。総練習では、ワースト1だったけど綱引きは男女1位で嬉しかったです。応援合戦でも悔いなくできました。全学年声が大きくて、言うことを聞いてくれて笑顔が最高でした。いい思い出をつくることができました。【緑団】

◆3年生最後の体育大会で全てを出し切ることができて良かったです。最初は、自分なんか団長を引っ張ることができるか不安でしたが、団のみんなが自分の指示をしっかりと聞いてくれたおかげで体育大会を無事終わることができました。これまで自分に付いてきてくれた1年・2年・3年の皆さんには感謝しています。最後の体育大会を笑って終わることができて良かったです。【緑団】

◆私は赤団の団長をして楽しいことも難しいこともたくさん経験することができました。応援練習では1・2年生に演舞を教えることにとても苦戦しました。たまに怒ったり、焦ってしまいダメ、ダメな時もあったけど、赤団全員のおかげで一番欲しかった応援合戦最優秀賞と総合優勝を勝ち取ることができ、感謝の気持ちで一杯です。赤団最高です!! 本当にありがとうございました。【赤団】

◆赤団の団長をやってみて、最初は団長としてうまくいかなかったけど、練習をしていくうちに、この団で優勝したいなあと思うようになりました。その結果、総合優勝や応援合戦最優秀賞という最高のパフォーマンスをして良い思い出を作ることができました。もう二度とできない中学校の団長をできてとても幸せでした。このリーダーシップを生かして次の行事でもみんなを引っ張るようにがんばります。楽しい体育大会でした。【赤団】

◆団長としてやる事はたくさんあったけど、最後は楽しく終わったので良かったです。総合優勝して立花先生を泣かせる事はできなかったけど、とても思い出に残る最高の体育大会でした。

【紫団】

◆私は体育大会を終えて、団長をしてみ、人の前に立つ大変さや団長をまとめる難しさを学びました。団長になって大変だと思ふことが多かったけど、その分団長としての楽しさも多くて、紫団の団長になれて本当に良かったです。先生や応援リーダーと意見がすれ違うこともあったけど、最後は団全員がまとまって楽しんでいたので、とても嬉しかったです。優勝することはできなかったけど、私は紫団が一番盛り上がり楽しんでいました。紫団の団長で本当に良かったです。ワッサー!!!

【紫団】



◆最初は、自分が団長として団をまとめるか不安もたくさんあったけど、実際にやっていると青団は、ちゃんと聞くことを聞いてくれて声も出してきて、最終的には準優勝という結果も残せて最高の団でした。

【青団】

◆どの団の中でも、忘れ物、服装の減点が少なく、早く集合することや指示をしっかりと聞いてくれた青団のみんなにたくさん感謝しています。他の学年の競技も全力で応援して、みんなで作戦を立てたり、みんなで喜んだり、本番では練習の時とは違う一体感を感じました。3年間の中で一番楽しい体育大会だったし、青団の団長でよかったなあと思います。団対抗リレーで1位になったとき、準優勝の発表をみんなで喜んだ時は忘れられない思い出になりました。青団ブラボー! ありがとう!! 【青団】



スローガン制作 美術部



◆いろいろ大変なこともあったけど、とても楽しい体育大会になりました。1・2年生は協力して素早く動いてくれて、3年生は率先して取り組んでいたところがとても嬉しかったです。橙団の1・2・3年生協力してくれてありがとうございました。【橙団】

◆大変なこともあったけど、橙団のみんなで楽しくプレイできて良い思い出になりました。1・2年生は来年優勝できるよう頑張ってください。橙団ガッツ!! 【橙団】